

2021年2月9日  
ブルームバーグ・エル・ピー

\*本プレスリリースはBloombergが2021年2月3日に英語で発表を行ったプレスリリースを日本語に翻訳・再編集したものです。オリジナルのプレスリリースの正式言語は英語であり、この内容および解釈については下記の英語版が優先となります。英文オリジナルにつきましては[こちら](#)のサイトをご参照ください。

## ブルームバーグが2025年までにCO2 ネットゼロを表明

今後4年間で達成を目指した挑戦的な目標に向けて、順調な進捗

【ニューヨークー2021年2月3日】ブルームバーグは本日、2025年までに二酸化炭素(CO2)排出量のネットゼロ(実質ゼロ)の達成を目指すことを表明しました。今回の表明は、ブルームバーグが長年取り組んできた持続可能性や気候変動対策をさらに強化するものです。また、既に同社が掲げている、2025年までに事業活動で使用する電力を再生可能エネルギー100%にする目標を補完するものでもあります。

国際機関や各国政府が既に表明もしくは検討している公的な削減目標を達成できるよう、ブルームバーグは、積極的にCO2排出量削減と業務の効率化に取り組むことで、ネットゼロの達成を目指します。このような取り組みで排出量を削減することが最優先である一方で、削減が不可能な年間排出量を相殺(オフセット)するために、カーボンプレジットを生み出すプロジェクトへの投資もしていきます。

2021年からは、ブルームバーグがパートナーシップを築き上げた企業と共に、出張で生じる排出量をオフセットするプロジェクトを進めます。長期的には、ブルームバーグ・フィランソロピーズが発展途上国において支援しているクリーンエネルギー関連のプロジェクトによるカーボンプレジットを審査します。

ブルームバーグ L.P.およびブルームバーグ・フィランソロピーズの創設者であるマイケル・R・ブルームバーグは、次のように述べています。「クリーンエネルギーに完全に切り替えるためのブルームバーグの取り組みは、計画を上回るスピードで順調に進んでいます。また、エネルギーの効率化により経費が削減され、風力発電や太陽光発電による電力価格の継続的な下落に伴い、クリーンエネルギーによる電力供給が化石燃料よりも一層安価になるなど、エネルギー移行の各ステップで利益の向上にも繋がっています。現在は、CO2の排出量削減に向けて、より多くの取り組みを、より迅速に進められるよう努めております。企業は、気候変動対策において重要な役割を担っており、ブルームバーグはその先頭に立ってコミットメントして参ります」

2008年から2019年にかけて、電力需要削減に向けたプロジェクト、エネルギー効率化対策、必要となるインフラのアップグレードにより、主にスコープ1とスコープ2におけるブルームバーグとしてのCO2排出量に歯止めをかけ、削減を進めてきました。

2019年には、ブルームバーグの温室効果ガスの内訳は、スコープ1(天然ガス、発電機用オイル、冷却材、航空燃料)が8.1%、スコープ2(購入電力、蒸気消費)が40.3%、スコープ3(出張、出版業務、国際物流、埋立廃棄物、オフィス・印刷所の紙消費)が51.6%でした。将来的に、算出されるスコープ3には、アップストリームの資本財、ブルームバーグ L.P.のハードウェア製造、従業員の通勤などが含まれるようになります。

2019年に、ブルームバーグ L.P.が使用したエネルギーの内、48.5%が再生可能エネルギーとなり、2018年の再エネ率 17%から増加しました。これは、2025年までに再生可能エネルギー100%にする「RE100」目標のおよそ半分程度が既に達成できたことを示しています。さらに、ブルームバーグの総排出量は基準となる2007年と比べて30%減少し、2020年までに20%削減する目標を既に上回る事ができました。2008年以降、ブルームバーグのグローバルなエネルギー効率化対策と環境プロジェクトは、1億2千万ドル以上の事業経費と100万トン以上のCO2排出量削減の成果を上げています。これは、同社のCO2排出量5年分に相当します。

ブルームバーグのベス・マゼオ CAO(最高総務責任者)は、次のように述べています。「気候変動対策において民間企業がリーダーシップを発揮すべき最も重要な時期を迎えています。ブルームバーグでは、気候変動が弊社の事業や拠点地域のコミュニティーに対してどのように影響するかを考慮し、サステナビリティを常に事業の中心に据えて参りました。2025年までにCO2排出量ネットゼロを達成するという挑戦的な目標を定めることで、気候変動アクションの具体的な進展を示しています」

ブルームバーグは、排出量ネットゼロへのコミットメントを、「[Business Ambition for 1.5°C](#)」キャンペーンに署名することで正式に始動しました。このキャンペーンは、排出量削減目標の設定を促す国際組織 SBTi イニシアチブ (SBTi) が、国連グローバル・コンパクト (UNGC) と We Mean Business とともに主導しているもので、今後の気温上昇を 1.5°C に抑える排出量削減目標を設定するよう企業に要請しています。

2018年11月には、ブルームバーグは、科学的根拠に基づいた排出量削減目標を設定することを表明しました。現在弊社が掲げている削減目標は、SBTiによる認定を受けています。

SBTi は、CDP、UNGC、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) による共同イニシアチブです。SBTi は、科学的根拠に基づいた目標設定を定義および促進し、独立的に企業の設定した目標を評価します。800社以上の企業が、科学的根拠に基づいた排出量削減目標の設定を表明しています。

持続可能性に関するブルームバーグのアプローチは、[2019年インパクト・レポート](#)にてご覧いただけます。昨年の活動についてまとめた2020年インパクト・レポートは、4月に公開予定です。

## ブルームバーグについて

ブルームバーグは、世界のビジネス・金融情報およびグローバルニュースを提供する情報サービス企業です。情報・人・アイデアをダイナミックなネットワークでつなぎ、有力な意思決定権者にビジネスの勝敗を左右する強力な情報ツールを提供します。ブルームバーグの最大の強みは、迅速かつ正確なデータ、ニュース、分析機能を革新的な技術を用いて提供していることで、これが[ブルームバーグ ターミナル・サービス](#)の中核を成しています。ブルームバーグのエンタープライズ・ソリューションは、この中核となる情報・技術の上に構築されており、組織全体におけるデータや情報へのアクセスから統合、配信、管理まで、より効率的かつ効果的な業務遂行を支援します。詳細については、[www.bloomberg.com](http://www.bloomberg.com) をご覧いただくか、[デモをリクエスト](#)してください。

ツイッター(ブルームバーグ L.P.): <https://twitter.com/Bloomberg>

ツイッター(ブルームバーグ・ターミナル): <https://twitter.com/TheTerminal>

LinkedIn(ブルームバーグ L.P.): <https://www.linkedin.com/company/bloomberg-lp/>